

新宿発信！欧州人形劇の旅「世界の人形劇の交差点」

FROM スタッフドパペットシアター
オランダ Stuffed Puppet Theatre 招聘公演

プーク人形劇場海外特別公演 No.27



Mathilde

マチルダ

作・演出・美術 // ネビル・トランター

2017年

7月 22・23日	札幌	札幌市こどもの劇場やまびこ座
25日	砂川	砂川市地域交流センター ゆう
27日	ひがし香川	人形劇場とらまる座
29・30日	名古屋	損保ジャパン日本興亜 人形劇場ひまわりホール

8月 1日	三 次	三次市民ホール KIRIRI
4・5日	飯 田	飯田人形劇場
7・8・9日		

 **新宿南口 プーク人形劇場**



老人ということ、
操作されること。
衝撃的、かつ魔術的。
(トリビューン・ド・ジュネーブ)

観客は、これが人形であることを忘れる。
(バーデン新聞)

Letter from Neville

私たち(私とウイム)は、大きな二つのスーツケースを持って、日本にやってきました。上演に必要な全ての人形や道具は、この中に入っています。

かつて、私はいまよりずっと多くの機材や技術スタッフと一緒に旅をしていました。より長大な脚本で、ずっと多くの照明や音響効果を用いていたのです。しかし数年前から、こうした全てを減らしていく試みを始めました。

私は、人形劇とはつまり、俳優とその人形のことであると思うのです。

世界は、どんどん高度なテクノロジーに依存するようになってきています。しかし人形劇に必要なものは、人形と、(それを操る)手だけなのです。

3年前、フランスのある団体から、小さな村のコミュニティセンターを巡って各30分ほどの上演ツアーをするよう招待されました。多くの会場では、空間が足りず、照明や音響設備は殆どありません。ほとんどの村民たちは、劇場公演というものを一度も観たことがありませんでした。

私は、新たな短編を作ることに決めました。30年前、私がまだとても若かった頃、70歳を超えた女性についての短い劇を作りました。私は彼女をマチルダと名付けました(なぜかは覚えていません)。当時72才だったこのマチルダは、いまでは102才になっているでしょう。その年になったマチルダに会ってみたい、と私は思いました。



私自身の人生の中で、老人たちと接してきた経験、これがこの作品にインスピレーションを与えています。90才を超えて現代の携帯電話を理解することがどれほど難しいことなのか。現代のテクノロジーは、老人にとって本当に恐ろしいものとなり得るのです。

『マチルダ』は、非友好的な世界にありながら、人間の尊厳を保つために戦う、老婆についての作品です。彼女の心と体は衰えていきますが、しかし彼女の中には、内なる力がいくばくか残っているのです。マチルダは、コスト削減と効率化の方が、人への敬意と親切さよりも大事にされているような老人ホームに住んでいます。このホームの経営者は、老人たちに携帯電話を渡し、夜間看護師を解雇することに決めます。助けが必要な緊急時には、老人たちは電話をかけることができるのですから… そうでしょう?

人形劇の中では、登場人物は容易にカリカチュア(戯画)となってしまいます。しかし私は、日常生活で会うような人々を、描き出したかったのです。現実の人間がそうであるように、複雑に。それぞれの登場人物が、自身の尊厳を持つように。

Story

とある、介護付き老人ホームでのおはなし。

新聞社から、介護付き老人ホーム「カーサ・ヴェルデ」に連絡が入った。

この老人ホームについて記事を書きたい、というのだ。

取材日はちょうど、一番年上の入居者、マチルダの102才の誕生日。

新聞に載れば、「カーサ・ヴェルデ」の宣伝にもなるだろう、と経営者たちは考える。

しかし、実際に起こることとは・・・?

Characters

カーサ・ヴェルデ

CASA VERDE

経営陣

【Mr. Money: ミスター・マネー】
舞台となる老人ホーム「カーサ・ヴェルデ」の所長。自分では成功者であると思っているが、余りにもヌケている。

【Mr. Ugly: ミスター・ブオトコ】
緑色の顔色をした、葬儀屋の男。お金のことを考えているとき以外は、阿呆である。

職員

【Angry Nurse: 怒れる看護師】
「カーサ・ヴェルデ」の看護師。重労働と低賃金に怒っている。

入居者と家族

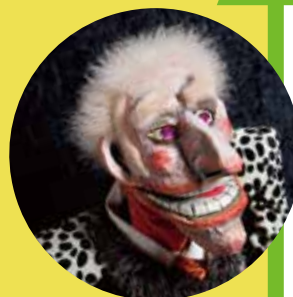
【Marie: マリー】
短髪の、女性の入居者。新聞社に電話をかけ、老人ホームの待遇の酷さを告発しようとする。実は、まわりが思うほど呆けてはいない。

【Henry: ヘンリー】
ルーシーの兄。医者から、余命幾ばくもないことを告げられている。自分のことは構わず、妹のルーシーのことだけを心配している。とても善良な人間だが、少し繊細すぎるところがある。

【Lucy: ルーシー】
ダウン症の老婆。少女のような心を持つ。これから「カーサ・ヴェルデ」に入居予定。これまでずっと、彼女の兄が面倒を見てきた。

【Mr. Lost: ミスター・ロスト】
レオンという名のライオンのバベットを友とする、男性の入居者。部屋に閉じ込められ、ドアを開けてくれるよう叫び続けている。時間と空間の感覚を失い、世界から隔絶されている。

【Mathilde: マチルダ】
「カーサ・ヴェルデ」最年長の入居者。102才の誕生日を迎えるところ。戦争ではなればなれになった、かつての恋人ジャン・ミシェルを待ち続けている。





Stuffed Puppet Theatre



ネヴィル・トランター Neville Tranter

1976年 Stuffed Puppet Theatre を設立。1978年 Festival of Fools に参加以降オランダへ移住、活動拠点として世界中で活躍を続ける。一人で複数の等身大の人形を使い分け、セリフも語り分ける独自のスタイルとその人形のパワーは、根本的な社会問題を風刺たっぷりに描き出す。ユーモアにあふれた彼の作品群は国際的にも評価が高く、多くの最優秀賞を受賞。教育者としても秀でた才能を持ち、ヨーロッパのほとんどの国で人形劇専攻科の講師を務める。人形を演劇表現の強力な媒体としての追及を続けるパイオニア的存在。

現在フランス国立人形劇芸術高等学院 (ESNAM) 講師。

スイスやフランスにて人形表現を取り入れたオペラ作品も演出。演出家・俳優・研究者としてその活動の幅を広げている。



ウィム・シトヴァスト Wim Sitvast

1997年以来スタッフド・パペット・シアターで活動。事務や技術的サポートの他、ときおり舞台にも登場。新作創造のとき、ネヴィルの対話相手になって最後の詰めまで作り上げるのを手伝う。スタッフド・パペット・シアターの一員であるのみならず、ウィムはアムステルダムでの病院の血液科で働く看護師でもある。

Awards

- ・1994年 ドイツ/ヴィルヘルムスハーフェン 小空間舞台芸術祭 大賞 『ナイト・クラブ』
- ・1996年 ドイツ/シュヴェアテ 小空間舞台芸術祭 大賞 『マクベス!』
- ・2001年 チェコ/プラハ 人形芸術祭 ベストパフォーマンス賞 『モリエール』
イタリア/チェルビア アリヴァンド・ダル・マーレ国際人形劇祭 金賞
- ・2002年 ドイツ/エアフルト ジュネルグラ国際人形劇祭 若年審査員賞 『モリエール』
クロアチア/ザグレブ 国際人形劇祭 大賞 『モリエール』
ドイツ/シュヴェアテ 小空間舞台芸術祭 大賞 『シッケルグルーバー、別名アドルフ・ヒットラー』
- ・2004年 ポーランド/トルン バイ・ポモルスキ祭 大賞
- ・2005年 オランダ人形劇連盟 ウィム・メイリンク賞

他受賞歴多数

Tranter's Puppetry



『アフガニスタンのパンチとジュディ』
(Punch & Judy in Afghanistan) 初演2009年



『ナイト・クラブ』(The Nightclub) 初演1993年



『シッケルグルーバー、別名アドルフ・ヒットラー』
(SCHICKELGRUBER alias Adolf Hitler)
初演2003年



『モリエール』(Molière) 初演1998年



心理学的主題を扱う作品は、実のところ人形劇の世界ではあまり多くない。その中で、ネビル・トランターの実験的試みは、心の理解に新たな要素をもたらすこととなった。彼の作品は登場人物間の依存関係を強調するが、それは人形の、操演者に対する依存によって視覚的に示されるのである。……

この、操演者と人形との相互依存は（演技が観客に見られたとき）、疑わせ、欺くことになるのである。誰が誰を動かしているのか？ 誰が誰に依存しているのか？ このテーマは、トランターの全ての作品の中心にある。彼は問題を冷静に、感情抜きに、分析するのだ。

国際人形劇連盟 名誉会長 ヘンリク・ユルコウスキ

出典：ヘンリク・ユルコウスキ著『メタモルフォーズ (変身) —20世紀における人形劇』
Henryk Jurkowski, *Métamorphoses. La marionette au XXe siècle*. Entretiens, Institut international de la Marionnette, 2008. pp. 251-254.

ヘンリク・ユルコウスキ
(Henryk Jurkowski, 1927-2016)

ポーランドの演劇史家、劇作家、批評家、記号学者。高等演劇学校（ポーランド/クラクフ）や国際人形劇研究所（フランス/シャルビル・メジエール）で教授を務めた。国際人形劇連盟 (UNIMA) 元会長。



『吸血鬼』(VAMPYR) 初演2006年



『ルーム5』(Room 5) 初演1988年



『ザ・キング ~あるスーパースターの凋落』
(THE KING, Downfall of a Superstar)
初演2015年

本日はご来場ありがとうございます

世界中の観客を魅了し、人形劇界をけん引し続けるスタッフドパペットシアター。人形を操っているのか、人形に人間が従っているのか…ネビル・トランター氏の生み出す世界は、人形と操作者の境目を乗り越え、人形劇表現の新たな扉を開きました。

「芸術表現としての演劇の中で、最も大きく変化したのは人形劇です。」*—フランス国立人形劇芸術学院ディレクター、ルシール・ボドゥソン氏がそう語っていますが、人形劇の表現の可能性はとどまることなく広がっています。今後とも選りすぐりの海外作品を通じて、新たな価値観・世界観との出会いを繋いでいきたいと思います。

物言わぬ人形たちの「声なき声」。人形を介して初めて成り立つ「人形のパワー」を、どうぞ最後までお楽しみ下さい。

2017年8月 プーク人形劇場

*13「日本の人形劇」(2014年3月刊) p52より
Lucile Bodson, "Becoming a Puppeteer Today",
in: TEATR LALEK, Nr.1/107, 2012. pp.9-10.

Staff

【作・演出・美術】 ネビル・トランター

【出演】 Stuffed Puppet Theatre
(ネビル・トランター、ウィム・シトヴァスト)

【スタッフ】
伊井 治彦
石田 律子
小柳 田美子

阿部 千賀子(第一ステージサービス)

字幕翻訳: 玉木 暢子
チラシデザイン: ニノキノコスター
パンフレット編集: 小原 美紗、山口 遥子

【協力】
松澤 文子(現代人形劇センター)
Damiet van Dalsum (Poppentheater Damiet)
Frank Bernhardt (Puppentheater Magdeburg)

マチルダ 2017年 ツアースケジュール

7月 やまびこ座 海外特別公演
22日(土) 19:00
23日(日) 14:00
札幌市こどもの劇場やまびこ座

ゆう初の海外特別公演!!
25日(火) 19:00
砂川市地域交流センター ゆう

開館25周年記念 特別公演
27日(木) 19:00
人形劇場とらまる座

愛知人形劇センター海外人形劇招へい企画
29日(土) 14:00
30日(日) 14:00
損保ジャパン日本興亜 人形劇場ひまわりホール

8月 「人形のまちみよし」シリーズ第5弾!
1日(火) 19:00
三次市民ホール KIRIRI

飯田人形劇フェスタ2017
4日(金) 19:00
5日(土) 10:00
飯田人形劇場

海外特別公演No.27
7日(月) 19:00
8日(火) 15:00/19:00
9日(水) 15:00/19:00
プーク人形劇場
10日(木)・11日(金) (ワークショップ)
プーク人形劇場

まだ間に合う! 夏旅! シルバーウィークの旅!



株式会社日本旅行
公務法人営業部 営業2課
東京都港区虎ノ門3-18-19
虎ノ門マリンビル11階
03-5402-6471
http://www.nta.co.jp/



創業59年 つながる心 ひろがる未来

各種冷暖房設備 給排水衛生設備 電機器制御盤

中央冷暖電機株式会社

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-48-10 TEL 03-3721-9171 FAX 03-3721-9172



ドイツの山小屋をイメージさせた店内で
おいしいドイツ料理とビールをお楽しみください。

クライネヒュッテ
KLEINE HÜTTE

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-11-5 アクティブ新宿ビルB1
TEL:03-3320-3557 FAX:03-3320-9369



Nagoya Fushimi Mont Blanc Hotel 名古屋伏見モンブランホテル

楽しい宿泊プラン満載!
名古屋の観光スポットへのアクセス◎

愛知県名古屋市中区栄2-2-26
(地下鉄伏見駅5番出口 徒歩2分)
TEL:052-232-1121
FAX:052-204-0256



テレビ・CM・番組制作 etc...

映像に特化した人形劇・人形制作のパイオニア

人形劇団プークの映像部門として独立して47年。
人形が登場する映像制作に必要な全ての技術を持っている、日本で数少ない「映像専門の人形劇・人形制作会社」です。



〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-1 記録映画社ビル5・6F
tel: 03-3379-4331 fax: 03-3379-4331 url: http://www.st-nova.jp/



お申込み・お問合せ 03-3370-3371 puppet@puk.jp
人形劇 PUK 会場 / 全席指定
新宿 紀伊國屋ホール

怪談 牡丹燈籠

三遊亭円朝原作

おとなの公演
8/26(土)
27(日)

開演 / 26日 14:00, 18:00
27日 11:00, 15:00



切り絵 / 百鬼丸

- 1958** // 第1回国際人形劇フェスティバル(ブカレスト、ルーマニア)に、川尻泰司(元・劇団代表)が審査員として招かれ参加。ウニマ【国際人形劇連盟】に団体会員として正式に加盟。これがきっかけとなって、世界の人形劇との交流が本格的に始まる。
- 1973** // プーク人形劇場企画制作【世界の人形劇シリーズ No.1】パーシー・プレス親子(イギリス)による『パンチとジューティ』。併演、「猿倉人形芝居 吉田千代勝一座」の『石見重太郎大蛇退治』。
- 1975** // プーク人形劇場企画制作【世界の人形劇シリーズ No.3】「ソフィア中央人形劇場」招聘。日本全国公演。(脚色・演出/A・イルコフ、ニコリーナ・ゲオルギエヴァ)『ピーターと狼』他。
- 1976** // プーク第1回海外公演(ルーマニア・ハンガリー・ブルガリア・チェコスロバキア)国際人形劇祭特別賞(受賞作品黒の劇場『人形日本風土記』) //9月、ブルガリアより、演出のニコリーナ女史を初招聘。『動物たちのカーニバル』を初演。
- 1986** // [世界の人形劇シリーズ No.16]「バルナ人形劇場」招聘。『プブ』他。 // 「布士富美子・鄙人形展」ソフィア・バルナで開催。(主催=ブルガリア・ウニマセンター)
- 1990** // 第9回海外公演(トルコ、ブルガリア、イタリア)「バルナ・ゴールデン・ドルフィン・フェスティバル」で、『うさぎの学校』(演出/川尻原次)が、外国部門コンクールで金賞を受賞。 // [海外人形劇シリーズ No.22]「バルナ人形劇場」招聘。『星の子』ほか(1992、1993他)。
- 2001** // D・ルスコーヴァ、M・ベトロヴァ氏招聘。“専門家のための特別集中講座”開催。 // 西本勝毅、NATFIS(ブルガリア国立演劇映画芸術学院)へ留学。
- 2003** // 第159回公演『いつもちこくのおとこのこ』初演。(演出/西本勝毅、人形美術/M・ベトロヴァ)
- 2004** // プーク・バルカン公演(ギリシャ、ブルガリア、セルビアモンテネグロ、クロアチア)『あやとじろきちおおかみ』
- 2006** // S・マレノフ氏を招聘。“マリオネットの表現講座”開催。 // 海外人形劇シリーズ特別企画「Theatre SHTE(テアタル・シテ)」人形劇『KAAARLSON(カ——ルソン)』(美術/山村倫)
- 2010** // 柴崎喜彦(演技部・演出部)NATFISに短期研修(3ヶ月)。
- 2012** // ウニマ世界人形劇フェスティバル(中国・成都)同大会会議出席。公式招待公演『ねぎぼうずのあさたらう』
- 2014** // 10月、【プーク人形劇場 海外特別公演 No.22】「CREDO THEATRE(クレドシアター/ブルガリア)」公演『外臺』、『お父さんのするこ』はいつもよし』。(同作2016)。
- 2015** // 8月、【プーク人形劇場 海外特別公演 No.23】『ザ・ブルチネラ』。(ジャンルーカ・ディ・マッテオ氏(イタリア))。 // 11月、【プーク人形劇場 海外特別公演 No.24】『Go!』。(ポーリーナ・ポリソヴァ氏(フランス))。
- 2017** // 3月、【プーク人形劇場 海外特別公演 No.26】『STOP!』『CON ANIMA』。『MIKROPODIUM(ミクロポディウム/ハンガリー)』。

NEXT SHOW

アジア児童青少年舞台芸術フェスティバル2018
The Key Theatre (イスラエル)

『大きな木』

“When All Was Green”
(Inspired by "The Giving Tree")

2018年2月19日



2018年「夏」海外特別公演
Alfa Theatre (チェコ)

『三銃士』

“The Three Musketeers”



プーク人形劇場 <http://www.puk.jp/theatre/theater.html>

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目12-3 tel:03-3379-0234 fax:03-3370-5120 e-mail:theatre@puk.jp

puppet



Lighting

人形劇、児童劇の照明
どんな事でもご相談ください。

有限会社 第一ステージサービス

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-4 502号
TEL&FAX 03-3370-0487
stage1@ninus.ocn.ne.jp



バッチ・メタル記念品

フタバメタル 株式会社

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1丁目11番15号
TEL 047-452-1122 FAX 047-454-2166